

美濃市 トンネル長寿命化修繕計画

1. トンネル長寿命化修繕計画とは

トンネルは、経年変化に伴い劣化や損傷が生じます。それらが進行して大きな被害が発生しないよう、点検と修繕工事（はく落対策やひび割れの補修など）を行う必要があります。

本計画は、通行の安全性を確保し効率的な維持管理ができるよう、点検や修繕工事などの予定を示した計画です。

2. 美濃市のトンネル概況

美濃市は長良川や板取川の清流が市域を縦断し、豊かな水に恵まれた、緑豊かな自然環境を有しています。市の北中部では、河川に沿って田園集落が形成されており、南部では、低地に広がる田園と、東海北陸自動車道など開通によって、新興住宅地や工業団地などが形成されています。

市が管理するトンネルは全部で3本あり、うち1本は建設から100年以上経過しています。そのため、修繕に多額の費用がかかる可能性もあり、計画的な維持管理とライフサイクルコストの縮減を目標に長寿命化計画を策定します。定期点検サイクルや診断の結果を踏まえて実施する修繕等を考慮し、計画期間を令和2年度から10年間とします。

対策の優先順位は、Ⅲ判定等のトンネルの中で、迂回路がないトンネル、交通量の多いトンネル、延長の長いトンネルを勘案し修繕計画を立てています。

3. 新技術等の活用方針

コスト縮減や維持管理の効率化を図るため、国土交通省「新技術情報提供システム(NETIS)」を活用する等、維持管理に関する最新のメンテナンス技術の積極的な活用を検討します。

4. 費用の縮減に関する具体的な方針

管理するトンネルについて、機能縮小、複数施設の集約化などの検討を行い、点検・修繕に係る中長期的な費用の縮減を検討し、維持管理のさらなる高度化、効率化を目指します。



3. 計画

トンネル長寿命化修繕計画(個別施設計画)を行うトンネル数は3本です。

	トンネル名	建設年度	道路種別	所在地	市道名	延長(m)	幅員(m)	等級	工法	概算事業費 (百万円)	点検結果・点検計画											修繕計画											補修内容					
											H26	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11						
1	洲原隧道	1933年	二級市道	須原	洲原・神母橋線	32.0	6.1	D	矢板工法	5.0	III	III						○																				舗装修繕工 はく落対策工
2	小倉トンネル	1915年	その他市道	港町	曾代13号線	39.1	4.8	D	矢板工法	8.0	II	II						○																			はく落対策工 漏水対策工	
3	曾代トンネル	2001年	一級市道	曾代	曾代運動公園線	148.0	11.2	D	NATM工法	50.0	II	II						○																			照明設備更新 はく落対策工	

※ 点検結果の見方 I (健全)、II (予防保全段階)、III (早期措置段階)、IV (緊急措置段階)

※ 対策の優先順位は、変状、危険度、路線の重要度・利用頻度(交通量)、迂回路の状況、トンネルの規模(延長)、照明の更新などを考慮しています。

※ II判定の変状は、日常パトロールや定期点検にて進行性や危険度を監視し、計画的に修繕するものとします。

※ この計画は、実施済みの点検結果などを基に策定しており、今後実施する点検の結果や災害対応等の要因により変更となる場合があります。

※ 交通量の多い橋梁において、新技術を使用し交通規制期間の短縮を図り、社会的影響を軽減するとともに、コスト削減を図ります。